

長中だより

第17号（平成30年2月13日発行）発行者 校長 小貫 崇明



【2月の生活目標】

- ・望ましい友達関係づくりに心がけ、充実した生活を送ろう。
- ・進級進学に向けての総まとめ

○新年度に向けて「新入生保護者説明会」＆「小学生中学校訪問」を開催しました！

1月24日（水）に、「新入生保護者説明会」を開催いたしました。4月から入学する新入生の保護者の皆様にお集まりいただき、本校における学校生活の概要や物品の購入について説明を行いました。その後、主任児童委員の太田様と山田様から、児童委員の業務について説明をしていただきました。説明会後には、家庭教育学級「子育て講座」として、角田勝江様より「12年間を振り返って」と題して講話をいただきました。（写真上）



また、2月1日（木）には、インフルエンザ拡大防止のため実施を延期していた「小学生中学校訪問」を実施いたしました。来年度から本校の1年生になる長沼小、長沼東小の6年生の皆さんが、授業体験や授業見学、生徒会役員による学校生活の説明、そして部活動体験のために本校を訪問しました。（写真左）



に本校を訪問しました。（写真左）

授業体験では西牧教諭による楽しい英語の授業に積極的に参加し、部活動見学では先輩たちが見せる技術のスピードや力強さを感じていました。中学校での学習や生活について様々な場面を見てもらうことができました。

○学校評価の結果から③「健康・体力について」

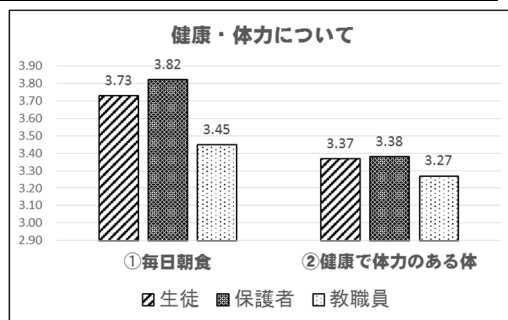
「学校評価アンケート」について、その結果報告第3弾は、本校の生徒の健康や体力についてどのように評価されているかをお伝えします。（右図を参照）

① 毎朝朝食をとる

違う調査では、生徒はほぼ100%朝食をとるという結果が出ていますが、「朝食のとり方」や「朝食の効果」について、特に保護者と教員の評価に差が出ました。朝の子どもを観察からは、朝食をとったはずなのに、朝から元気が無くぼおとした子どもが少なからずいます。早寝・早起きとセットで朝食をしっかりとることが大切だと思います。

② 健康で体力のある体

全体として評価が3点台の下で低めです。また、ご家庭で思っているより、教員の評価はさらに低くなります。ご家庭での健康的な生活のあり方（朝食や栄養、睡眠、時間の設定等）を見直し、学校の体育の授業と連携しながら体力づくりについて取り組んでいきましょう。



○中学生による模擬議会～新しい須賀川市議会議場にて～

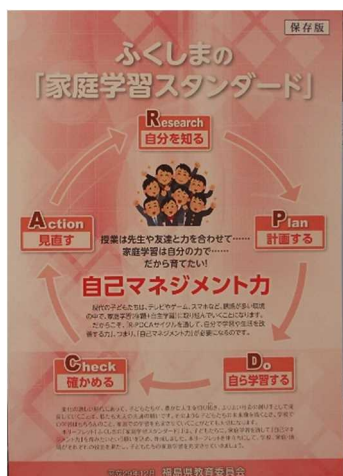
今年度新しくなった須賀川市役所内にあります議会本会議場において、1月29日（月）の午後、「中学生による模擬議会」が開催されました。須賀川市内の中学校10校の代表24名が議員となり、市政について中学生らしい率直で純粋な質問を行いました。

長沼中からは、2年生で生徒会の会長である善方悠貴君と副会長の木村玲子さんが参加し、善方君から須賀川市における保育料負担額や待機児童に関して、自分の家族の状況と関わらせて質問をしました。教育部長さんから保育料負担額や待機児童について須賀川市の実態が説明され、市長さんからは現在進めている5歳児の保育料無償化や待機児童を無くすため民間とも協力し保育士不足を解消する努力をすることなどについて答弁がありました。

模擬議会とはいっても、市長や市当局の部長さん方から本物の議会同様の答弁があるという貴重な体験ができた2人は、さすがに緊張していましたが、本当の議員になったように立派でした。



○ふくしま『家庭学習スタンダード』を配布いたしました



この度、生徒を通じて各家庭に福島県教育委員会が作成した「ふくしま『家庭学習スタンダード』」を配付しました。

これからの社会を生きていく子ども達には、自信を持って自分の人生を切り拓き、よりよい社会を作り出していくことができるよう、必要な資質・能力を身につけなければなりません。県教委では、自分で学習や生活の課題を見つけ、それらを自分で改善する力＝自己マネジメント力を育成するために、家庭学習を子どもが自ら計画し実施することができるようこのパンフレットを作成しました。（詳しくは県教委ホームページをご覧ください）

家庭学習の充実には、学校での指導はもちろんですが、各家庭や地域の協力が必要です。このパンフレットには、そのための3つの視点が示されています。ご家庭でも取り組んでいただければと思います。

- 【3つの視点】①「心の支え」……家族とのコミュニケーションによる安心感
②「環境づくり」…学習に集中できる環境、地域の行事や体験活動への参加
③「習慣づくり」…早寝・早起き・朝ご飯、家のお手伝い、
テレビやゲーム、スマホをするときのルール設定

★大切にしたい言葉(17) 「嵐の中にボートを出すばかりが勇気じゃないんだよ」

先日大学入試でも話題になった『ムーミン』に出てくる「スナフキン」の言葉です。物語の中では謎の存在のスナフキンですが、その短い一言がかなり深い意味を持っています。これは、困難に立ち向かう勇気も大切だが、「やめる勇気」や「休む勇気」など、人生には様々な勇気が必要だということを言っているのではないのでしょうか。彼の名言は他にもあって、「自由が幸せとは限らない」とか「たまには休むのもひとつの仕事じゃない？」など、心に響く深い言葉がたくさんあります。アニメや絵本のムーミンを久しぶりに見たくなくなってしまいました。

